



新卒者研修「静脈注射Ⅲ-a」


～安全で確かな静脈注射を身につけよう～



新卒者を対象に「静脈注射Ⅲ-a」の研修を実施しました。研修者は、事前に各部署で末梢静脈留置針を安全に挿入するための講義DVDを聴講しました。実技演習では、末梢静脈注射実施基準・実施マニュアルに沿って、研修者が患者役、看護師役となり、末梢静脈留置針を安全に挿入するための技術を学びました。研修者は、末梢静脈留置針の挿入は、患者が苦痛を伴う看護技術の一つであり、安全でかつ確実に挿入できるよう、今後も知識と技術をより高めていきたいと実感していました。

事前に講義DVDを配布し、研修者は、血管確保に伴う合併症やスキンケア予防のテープの貼り方、剥がし方などを学びました。





**新卒者研修
「静脈注射Ⅲ-a」**
～安全で確かな静脈注射を身につけよう～

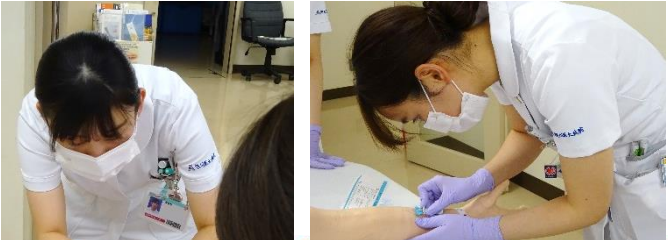
1. 末梢神経障害

末梢神経障害の予防

- 穿刺部位に注意する（神経の走行）
- 穿刺時の痛みを確認する（しびれる痛み・ピリツとする痛み・電撃痛など）
- 穿刺後、針で血管をさぐらない
- 必要以上に深く穿刺しない
- 脈血は1分以内を目安とし、脈血帯の外し忘れに注意

末梢神経障害の対応

- 主治医に報告、十分な説明と経過観察・専門の診療科受診など



初めて触れる静脈留置針で、フィンガーグリップやプッシュアップの押し進め方を確認しました。二次固定ではΩの形で貼付することを確認しました。

院内で使用されている静脈留置針の構造について確認しました。また、安全に穿刺するための刺入部位として神経や動脈の走行などを考えました。



滴下速度の調整やキョクイファイトレックでの確実な投与についても改めて確認しました。

★新人教育に関して、何かご意見やご要望などありましたらお気軽にご連絡ください。
看護職キャリア支援 教育担当